

日産車体株式会社  
日産車体九州株式会社

会社概要 2024



NISSAN  
GROUP OF JAPAN - ASEAN

# 私たち日産車体は 信頼される企業として、独自性に溢れ、 お客さまに魅力ある質の高いクルマとサービスを、 タイムリーにお届けします。

この度、社長に就任いたしました畠山でございます。

日産車体は、1949年、鉄道車両および自動車の車体製作メーカーとしてスタートし、1951年より日産グループの一員として、神奈川県湘南地区および京都府宇治市においてその歩みを重ねてまいりました。2000年には湘南地区に量産車種の生産を集約しました。そして、2007年には、将来にわたっての事業基盤を確立するため、新たに日産車体九州株式会社を設立し、2010年1月より、九州での新工場の稼働を開始いたしました。

日産車体は、湘南工場と日産車体九州の2つの生産拠点をもち、湘南工場では、LCV(Light Commercial Vehicle・小型商用車)の「AD」、「NV200パネット」の2車種を生産し、日産車体九州では、ミニバンの「エルグランド」、大型SUV(Sport Utility Vehicle・スポーツ用多目的車)の「アルマーダ」、そしてLCVの「キャラバン」などの6車種を生産しています。

LCV・フレーム車の開発・生産においては独自のノウハウを持ち、日産グループのLCV・フレーム車の開発・生産支援を担っています。

当社の主要事業は次の3つになります。

1つ目は、「商用車・プレミアムカー」です。

独自性の進化・深化により、ものづくり技術力・生産性の向上を図るとともに、商品の付加価値を高め利益と売上台数の拡大を図ります。

2つ目は、「特装車」です。

将来の成長性と高い収益性が見込める特装事業において、お客さまのニーズの多様化に迅速に対応することで事業拡大を図ります。

3つ目は、「サポート事業」です。

サービス部品生産やエンジニアリング受託業務、電動化対応を含む各種サポート事業について、生産量・業務量の拡大を図ります。

当社は、「気候変動への対応の必要性」、「市場のニーズの変化」、「企業に求められる社会的責任の高まり」、「労働人口、従業員の意識の変化」、これらの環境変化を認識し、昨年度2023-2027中期経営計画をスタートいたしました。これらの環境変化を踏まえ、目指す姿を「商用車とプレミアムカー、特装車、サポート事業で社会に貢献し、お客さまから頼られる唯一無二の存在となる。」と定め、3つの主要事業の拡大を図ってまいります。

1つ目の柱は、「持続可能な企業基盤」です。

本中期経営計画では、活動の柱の中心に「持続可能な企業基盤」を掲げ、ESGすなわち「環境」、「社会」、「ガバナンス」の課題に取り組み、サステナビリティを中心に据えた事業活動を推進しております。

2つ目の柱は、「魅力ある商品の創出」です。

まず、日産車体九州にて4月に北米向け新型INFINITI QX80を立ち上げました。今年度は、中近東向けの新型フレーム車など、派生車についても、順次量産を開始してまいりますので、是非ともご期待いただきたいと思います。

3つ目の柱は、「独自性の進化と深化」です。

技術開発については、今年度以降も引き続き、効率的なサービス部品の生産を実現する技術や今後のCASEを見据えた新たなアイテムの積み上げに取り組んでいきます。

2023-2027中期経営計画の2年目に当たり、引き続き、当社の強みである開発から生産まで一貫したものづくり体制の強化と、法令遵守やコーポレートガバナンス向上に取り組んでいくことで、ステークホルダーの皆さまからの信頼を高められるよう、努めてまいります。

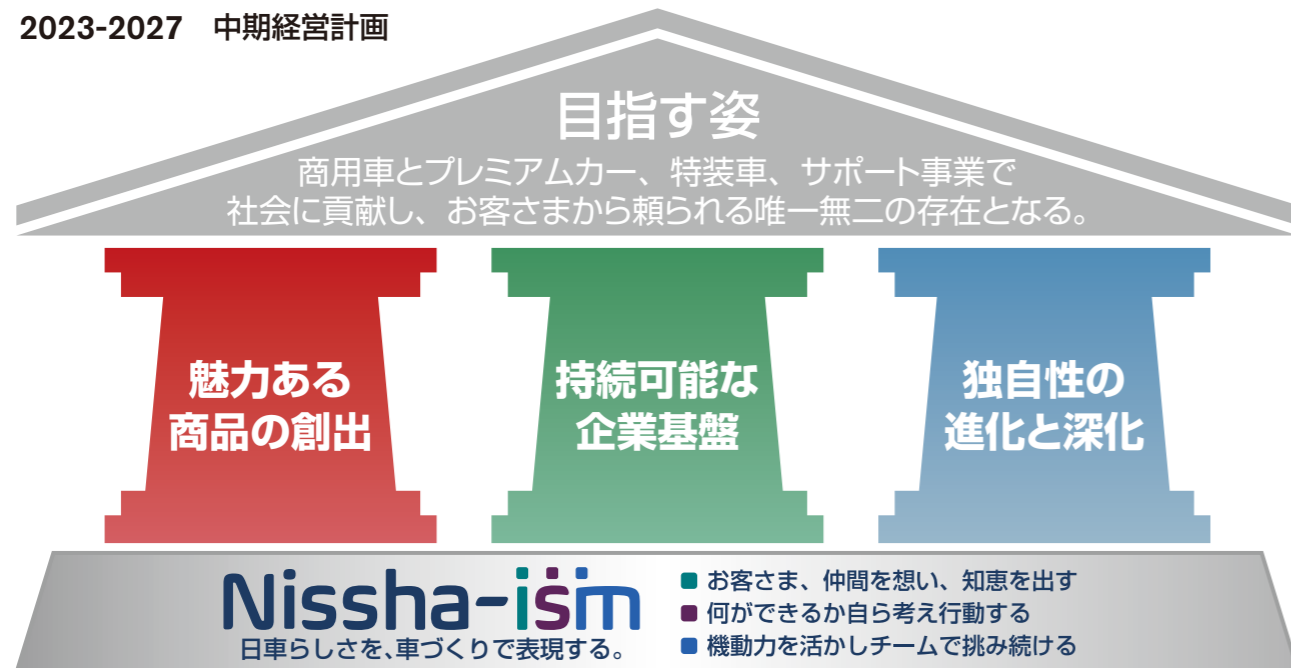
2024年10月



代表取締役 兼 社長執行役員

畠山 隆

## 2023-2027 中期経営計画



## CONTENTS

2 - 3	社長メッセージ	10 - 11	「独自性の進化と深化」 独自性あふれる技術・アイデアにより、 革新性、効率性、フレキシビリティを探究し続けます
4 - 5	主要事業	12 - 13	日産車体の概要
6 - 7	「持続可能な企業基盤」 2050年のカーボンニュートラルを実現します。 誰もが働きがいを持って安心して働くことができる 企業・風土を全員で実現します	14 - 15	日産車体九州の概要
8 - 9	「魅力ある商品の創出」 多様化するお客さまのニーズにタイムリーに応え、 お客さまがワクワクする商品と価値を創出します	16 - 17	歴史
		18 - 19	財務データ・関係会社の概要
		20	生産車紹介

# 主要事業

日産車体は、開発から生産までのものづくり機能を持つ完成車メーカーです。

日産車体は、日産自動車から委託を受け、開発から生産までを担う完成車メーカーです。

新型車のコンセプト・デザインに基づき、設計、試作、実験といった開発業務から、工場での生産ライン設計や設備導入などの生産準備、プレス、車体溶接、塗装、車両組立、品質保証までを行っています。

## ■ 開発

バーチャル解析技術などによる量産前の高い生産性確認やテストコースでの試験を重ね、「設計変更ゼロ」の効率的な設計に取り組んでいます。

## ■ 生産技術

日産生産方式(NPW)を取り入れ、最新の技術、設備を導入し高品質で生産性の高い工場をつくり上げます。

## ■ 生産

湘南工場と日産車体九州の2つの生産拠点では、生産効率を高めるとともに、環境にやさしく、高品質なクルマづくりを実現しています。

## ■ 完成車メーカーがつくる 特装車

日産車体では、1台ずつ用途の違う特装車の受注生産にも力を入れています。特装はグループ会社のオートワークス京都が担当。開発から生産までの一貫体制でお客さまのニーズにあった特装車をお届けしています。

## ■ 培ったノウハウを活かした 開発・生産サポート

日産車体は、国内拠点でのクルマづくりだけでなく、LCVの開発や、グローバルに展開する日産自動車の工場での新型車の立上げ、新たな工場、生産ラインの準備・構築などもサポートしています。

## 売上高

### サポート事業

生産量・業務量の拡大

### 特装車

お客さまニーズへの対応

### 商用車 プレミアムカー

商品の付加価値向上

技術力・生産性向上

日産車体グループは2023年度からの中期経営計画において、以下の主要事業の拡大を図ります。

### 1.商用車・プレミアムカー

独自性の進化・深化により、ものづくり技術力・生産性の向上を図るとともに、商品の付加価値を高め利益と売上台数の拡大を図ります。

### 2.特装車

将来の成長性と高い収益性が見込める特装事業において、お客さまのニーズの多様化に迅速に対応することで事業拡大を図ります。

### 3.サポート事業\*

サービス部品生産やエンジニアリング受託業務、電動化対応を含む各種サポート事業について、生産量・業務量の拡大を図ります。

\* サポート事業  
サービス部品、エンジニアリング受託、試作、型・治具、設備、その他

2023

2027

Sustainable corporate foundation

# 持続可能な企業基盤



環境負荷を削減するための水系3WET塗装。  
中塗り、上塗りのカラーベースとクリアコート3層を連続して塗り重ねて、1回で焼き付ける工法。CO<sub>2</sub>の大幅削減となるほか、水性塗料を採用することでVOC排出量も削減します

## 2050年のカーボンニュートラルを実現します。 誰もが働きがいを持って安心して働くことができる 企業・風土を全員で実現します

日産車体は、日産グループの一員として、利益ある成長を遂げながら、社会や環境、自然と共生できる企業を目指します。

環境対応では、日産グループの掲げる環境理念のもと、当社が策定した環境理念に従い、環境方針を定め、あらゆる観点から取り組みの推進に努めています。特に自動車産業の使命として、環境にやさしいクルマづくりなどを積極的に進め、今後も継続して再生可能エネルギーの活用、設備の電動化、省エネルギー化に取り組みます。

また、多様な価値観の共存と、誰もが働きやすい職場づくりのため、ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン、職場環境整備、安全、健康といった活動を推進します。そして、社員を「人材」ではなく「人財」と考え、社員を育てることを重要な経営戦略の一つとし、人材育成にも積極的に取り組みます。

さらに、企業のさまざまな取り組みを通して地域との共生を図ります。地域社会との交流を積極的に行い、地域での福祉活動や災害の復興などのボランティア、小学生を対象とした学習支援活動を継続して実施していきます。



2050年のカーボンニュートラル実現のために、さまざまな取り組みを推進しています



誰もが働きやすい職場づくりのため、ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョンに取り組んでいます

### 開かれた企業として地域貢献活動に取り組んでいます。



工場見学



企業祭



地域の美化活動への参加



津波避難場所指定の本社ビル

日産車体は地域社会との交流を積極的に行い、湘南工場では地元平塚を中心に年間約2万人の小学生の社会科見学を受け入れています。また地域住民の方もご参加いただける企業祭の開催や、地域イベントへの協賛・出展など地域に根ざしたさまざまな活動を継続して行っています。



実車の代わりに大型画面を使った塗装技能の習熟訓練。時代に即した教育・訓練を導入しています



人を大切にする働き方改革を推進。「プラチナくるみん<sup>※1</sup>」や、「健康経営優良法人—ホワイト 500—<sup>※2</sup>」にも認定、顕彰されています

※1: 次世代育成支援対策推進法第13条に基づく認定  
※2: 経済産業省と日本健康会議が共同で進める「健康経営優良法人認定制度」認定

Creation of appealing products

# 魅力ある商品の創出



中東で絶大な人気を誇る「パトロール(Y62)」の70周年記念モデル(湾岸地域限定)。ラグジュアリーなデザイン、上級の快適さ、安全性と楽しさを高める先進技術を備え、「パトロール」らしいパワーとプレミアム品質を具現化しました

## 多様化するお客さまのニーズにタイムリーに応え、お客さまがわくわくする商品と価値を創出します

日産車体は、商用車・プレミアムカーのプロフェッショナルとして、お客さまから褒められる商品を提供します。そして、特装車両の充実、および多様化するニーズにタイムリーにお応えする新商品をお客さまに提案します。

豊富なバリエーションを展開する「キャラバン(輸出名 URVAN)」は、発売以来、先進安全装備、グレードの追加、燃費性能、デザインの向上など、継続した商品力強化で、国内のみならず海外でも高く評価されています。

中東湾岸諸国を中心に、アフリカやASEAN地域でも台数を伸ばす「キャラバン」や「パトロール」は、現地のお客さまや販売会社とのダイレクトコミュニケーションを図ることで、新たなニーズの発掘も進めています。

また、プレミアムブランドのINFINITI「QX80」や北米向けSUV「アルマーダ」は、世界的な市場調査、現地の自動車ジャーナリスト協会などから多数の栄誉をいただいています。

ほかにも積雪や凍結の多い地域に向けた「NV200パネット」の4WD設定など、市場要望に幅広く対応し、着実に台数の拡大につなげています。

今後も市場調査に基づくタイムリーな製品企画、迅速な商品化と積極的な販売支援、さらにサービス部品や、電動化を含むCASE\*等のビジネスの拡大を図り、多様なニーズに応える当社独自の活動を一層強化していきます。

\*CASE: Connected, Autonomous, Shared & Services, Electric



キャラバン「MYROOM」。自分のお気に入りの部屋ごと自然の中に持ち込んでリラックスできる新たな車中泊を提案



日産車体九州で生産するINFINITI「QX80」。厳しい品質基準をクリアした工場のみが生産を許されます

### お客さまのニーズに「素早く」「正確に」応える「キャラバン」特装車



「キャラバン」特装車は、先進安全性、機能性、利便性など、お客さまのニーズに「素早く」「正確に」応えながら、豊富なバリエーションを展開しています。特装はグループ会社のオートワークス京都が担い、「日産パラメディック」などの救急・医療関係車両、消防関係車両、幼児通園専用車(置き去り防止装置付)など多岐にわたっています。



「NV200パネット」マルチベッドワゴン2トーン。親しみやすい見た目で東京モーターショーでも人気を博しました



大容量の荷室空間と、快適な乗り心地を兼ね備えた商用バン「AD」。装備の拡充を図り、安全性を向上させました

## Evolution and deepening of uniqueness 独自性の進化と深化



ミニバンの「エルグランド」やフレーム車の「パトロール(Y62)(Y63)」、LCV(小型商用車)の「キャラバン」などの6車種を効率的に生産する日産車体九州の生産ライン

## 独自性あふれる技術・アイデアにより、革新性、効率性、フレキシビリティを探究し続けます

日産車体には、湘南工場と日産車体九州の2つの生産拠点があります。2つの工場は「日産生産方式(NPW)」を取り入れ、また、基本構造の異なる車種を一つのラインでつくる多車種混流生産<sup>※1</sup>を行っています。

工場を支えるのがものづくり一貫体制です。当社には設計や試作車の制作を行う開発部門、生産設備を設計・製作する工機部門、あらゆる面からクルマをチェックする実験部門があり、開発から生産、品質管理までを一貫で行っています。このものづくり一貫体制を活かし、湘南工場、日産車体九州ともに生産台数に応じた効率的な生産体制を追求し、多品種少量な商品の最適な生産技術・工法を構築します。

また、当社は商用車・プレミアムカー、特装車のものづくりにおいて、グローバル日産の中で中心的な役割を担っています。

開発部門では新世代フレーム車を中心とするものづくり技術の強化や先進ITS<sup>※2</sup>技術の適用などを進め、また、生産部門では「人にやさしいライン」を目指し、当社独自のものづくりプロセスに焦点を当てた計画的な取り組みを進めています。

日産車体では、これまで培ってきた固有技術をさらに磨き、商用車・プレミアムカー、特装車のものづくりにおいて、頼られる存在を目指します。

※1 多車種混流生産  
モノコック車(枠組みとボディが一体で構成されるクルマ。乗用車、商用バン)とフレーム車(頑丈なフレームの上にボディを載せて組み付けるクルマ。SUV、トラックなど)など複数車種を同一のラインで生産する  
※2 ITS  
Intelligent Transport Systems 高度道路交通システム



コンパクトなラインでの柔軟なものづくりが特徴の湘南工場。多品種少量生産の最適な工法を追及し続けています



技術開発に欠かせない思考を学ぶQFD(品質機能展開)技術発表会。開発部門だけでなく、生産・管理部門からも参加

### 創造する喜びと技術開発への意欲へ！ 新製品・新技術展示会 & アイデアコンテスト



新製品・新技術展示会



アイデアコンテスト

創造する喜びと技術開発への意欲につなげようと、日産車体では、年に1度、新製品・新技術展示会 & アイデアコンテストが社内で開催されます。新製品・新技術展示会は、開発した技術の情報共有の場として欠かせないイベントです。アイデアコンテストには日産車体グループ社員なら誰でも応募ができ、部門・年齢を問わず多くの社員が参加。アイデアが実車に採用されることもあります。



フレームの設計検討用CAE解析画像。新世代フレーム車など当社固有のものづくり技術をさらに深化



ロングドライブでも疲れにくい「キャラバン」のスパイナルサポート付きシート。商用車で初採用

# 日産車体の概要

## 開発から生産までのものづくり機能を持つ日産車体

当社には、「開発」から「生産」、「品質保証」までを一貫して行うために、主要な3つの拠点があります。神奈川県平塚市堤町の「本社・湘南工場」と、平塚市大神の「テクノセンター」および、秦野市の「秦野事業所」を

中心とした開発部門です。私たちは互いに連携を取り合いながら、お客さまにご満足いただける商品を提供するために、日々努力しています。



### 本社・湘南工場

本社機能と車体溶接、塗装、組立などの「工場」、および物流基地からなる「生産」部門を擁する、当社の最大拠点です。



### テクノセンター

設計、試作車の製作などを行う当社「開発」部門の中心であり、生産設備を設計・製作する「工機」部門の拠点でもあります。



### 秦野事業所

テストコースや実験設備があり、車体の強度、耐久性など、クルマをあらゆる面からチェックする厳しいテストを行っています。

## 会社データ

社名	日産車体株式会社
創業	1941年7月1日
設立	1949年4月1日
資本金	79億4百万円
従業員数	1,681名（2024年3月31日現在）
事業内容	各自動車の開発から品質保証まで
URL	<a href="https://www.nissan-shatai.co.jp">https://www.nissan-shatai.co.jp</a>

## 主な事業所所在地

- 本社・湘南工場  
〒254-8610 神奈川県平塚市堤町2番1号  
電話：0463-21-8001
- テクノセンター（開発部門）  
〒254-0012 神奈川県平塚市大神三丁目6番1号  
電話：0463-21-8305
- 秦野事業所  
〒259-1304 神奈川県秦野市堀山下233番地  
電話：0463-87-2972

## 役員

### 取締役

代表取締役	富山 隆
取締役	小滝 晋
取締役	矢部 雅之
取締役	中村 卓也
取締役(独立・社外)	大平 靖之
取締役(独立・社外)	品田 英明

### 監査役

常勤監査役	青地 潔
監査役(独立・社外)	伊藤 智則
監査役(独立・社外)	金治 伸隆

### 執行役員

社長執行役員	富山 隆	理事	工藤 太
専務執行役員	小滝 晋	理事	遠藤 栄緒
専務執行役員	矢部 雅之	理事	鈴木 拓也
専務執行役員	中村 卓也	理事	高山 涉
常務執行役員	中西 弘幸	理事	上野 啓之
常務執行役員	渡辺 昌也	理事	市川 雄二
常務執行役員	鈴木 涉		
常務執行役員	佐藤 曜佐		
常務執行役員	山下 真之		

### カンパニー コンプライアンス・オフィサー

牛込 正明

# 日産車体九州の概要

## INFINITIブランドの生産を許されている日産車体九州

2010年1月に本格稼働した日産車体九州は、グローバル日産のINFINITIブランドの生産を許されている工場です。多くの自動車・部品メーカーが進出し、また目覚ましい発展を続けるアジア地域との物流メリットが大きい北九州地区に立地しています。

日産車体九州は、日産自動車九州工場内に位置し、車体館、塗装館、組立館、そして日産車体九州の本社機能を持つ事務棟から成り立っています。

工場は日産生産方式（NPW）を取り入れ、INFINITIブランドをはじめとする高級車の品質に対応し、徹底した効率化によって、トップレベルに短縮された生産リードタイムを誇っています。

また、コンパクトカーから大型高級ミニバンまで生産可能な多車種混流生産ラインと人と環境にやさしい工場を特長としています。



ロボットによるドアの自動組み付け工程（車体）



ロボットによる塗装面の品質チェック（塗装）



助力装置を使った重量部品の組み付け（組立）



ファイナル検査工程の四輪加振機



### 車体館

ローラーヘミングラインの導入などにより精度の高い車体骨格をつくります。また、ロボットによるボンネットやドアといった重量部品の自動組み付け、AGVで車体や部品を運ぶなど、フレキシブルでコンパクトな生産ラインを特長としています。



### 塗装館

新塗装技術である3WET塗装により、環境への対応と高級車へ適用ができる塗装品質を実現しました。さらに、工場内のクリーン化や自動外観検査装置の採用などにより、高品質な塗装を実現しています。



### 組立館

フレーム車とモノコック車の混流が可能な進化した車両組立ラインを持ち、ファイナル工程で全車を加振試験するなど、高級車にふさわしい高い品質を実現しています。また、作業者の負担を軽減する助力装置を採用するなど、人にやさしい工場となっています。

## 会社データ

社名	日産車体九州株式会社
設立	2007年5月10日
資本金	10百万円（日産車体株出資比率100%）
従業員数	1,072名（2024年3月31日現在）
事業内容	自動車およびその部分品の製造・販売
URL	<a href="https://www.nissan-shatai.co.jp/nissan-shatai-kyushu">https://www.nissan-shatai.co.jp/nissan-shatai-kyushu</a>

## 事業所所在地

■ 本社  
〒800-0321 福岡県京都市郡刈田町新浜町1番地3  
電話：093-434-9645

## 役員

### 取締役

代表取締役 社長	富山 隆
専務取締役	中村 卓也
取締役 工場長	遠藤 栄緒
取締役	上野 啓之
取締役	高山 涉
取締役	東 俊明

### 監査役

監査役	佐藤 曜佐
監査役	青地 潔



# 歴史

- 2024 10 アルマーダ(Y63)生産開始 
- 07 パトロール(Y63)生産開始
- 04 INFINITI QX80(Z63)生産開始 
- 2023 12 大和インベスター・リレーションズ「インターネットIR表彰 優秀賞」、日興アイ・アール「全上場企業ホームページ充実度ランキング 最優秀サイト」受賞。13年連続ダブル受賞 
- 2021 06 オートワークス京都での車両生産終了、コンバージョン事業に特化 
- 2019 07 パトロール(Y62)2020年モデル生産開始 
- 2018 11 パラメディック(E26)発表 
- 2016 06 アルマーダ(Y62)生産開始 
- 2015 06 日産の新世代タクシー「NV200タクシー(M20)」量産開始 
- 2014 03 新本館の竣工式を実施、湘南地区の再編を完了
- 2013 07 湘南工場第1地区土地の譲渡を決定
- 2012 12 第4地区の生産車を第2地区へ集約し湘南工場の車両生産体制の再編を完了 
- 05 NV350キャラバン(E26)生産開始 
- 02 湘南工場第1地区での車両生産を終了 
- 2011 05 パトロール ピックアップ(UY61)生産開始 
- 05 当社が開発したNV200、ニューヨーク市の次世代タクシーに選定
- 03 アトラス F24生産開始 
- 2010 12 NV200バネットタクシー発売 
- 12 クエスト(RE52)生産開始 
- 11 日産車体が開発し、日産車体九州(株)が採用した新塗装技術「3-WET工法」が「日経地球環境技術賞 優秀賞」を受賞 
- 07 エルグランド(E52)生産開始 
- 04 INFINITI QX56(Z62)(現QX80)生産開始

- 01 パトロール(Y62)生産開始 
- 01 「日産車体九州(株)」稼働開始 
- 2009 05 NV200バネット(M20)生産開始 
- 04 「日産車体九州(株)」竣工 
- 2008 05 サガミ・メンテナンス(株)を「日産車体エンジニアリング(株)」に社名変更 
- 04 「日産車体マニュファクチャリング(株)」を設立
- 2007 11 (株)日本科学技術連盟から日本品質奨励賞、品質革新賞受賞 
- 10 生産累計1,500万台達成
- 05 「日産車体九州(株)」を設立 
- 2006 12 AD/ADエキスパート(VY12)生産開始 
- 01 (社)環境情報科学センターからPRTR優秀賞、審査員特別賞受賞
- 2005 11 ウイングロード(Y12)生産開始 
- 05 セレナ(C25)生産開始 
- 2004 11 平成16年度 地球温暖化防止活動環境大臣表彰受賞
- 04 湘南工場、秦野事業所、京都分室国際品質基準ISO9001:2000認証へ更新
- 2002 12 INFINITI FX35/45(S50)(北米向け)生産開始 
- 05 エルグランド(E51)生産開始 
- 2001 04 キャラバン(E25)生産開始 
- 04 (株)オートワークス京都を設立しマイクロバスの生産を移管 
- 1999 12 商品開発部門国際環境基準ISO14001認証を取得 
- 10 秦野事業所に5,800トランスファープレス導入 
- 05 ウイングロード(Y11)生産開始 
- 04 創立50周年を迎える 
- 02 シビリアン(W41)生産開始 

- 1998 11 ブレーリー リバティ(M12)生産開始 
- 08 アベニール(W11)生産開始 
- 01 湘南・京都工場国際環境基準ISO14001認証を取得 
- 1997 10 サファリ(Y61)生産開始 
- 05 エルグランド(E50)生産開始 
- 01 ダットサントラック(D22)生産開始
- 1996 08 3D-CADシステム導入
- 1995 04 湘南・京都工場国際品質基準ISO9002認証を取得 
- 1993 07 クルー(K30)生産開始 
- 1992 06 生産累計1,000万台達成
- 1991 06 セドリックセダン(Y31)生産開始 
- 1990 12 資本金79億400万円となる
- 1989 07 フェアレディZ(Z32)生産開始 
- 01 エスカルゴ(G20)生産開始
- 1985 03 フェアレディシリーズ累計輸出台数100万台達成
- 1984 02 フェアレディZ生産累計100万台達成
- 1983 09 フェアレディZ(Z31)生産開始 
- 1982 08 ブレーリー(M10)生産開始 
- 07 シビリアン(W40)生産開始 
- 1980 08 生産累計500万台達成
- 1978 11 秦野事業所開設 
- 08 フェアレディZ(S130)生産開始 
- 1972 12 キャラバン(E20)生産開始 
- 1971 06 日産車体(株)と改称 
- 1970 12 資本金48億円に増資 
- 04 生産累計100万台達成

- 1969 10 フェアレディZ(S30)生産開始
- 03 京都新工場完成
- 1965 06 平塚第2地区新工場完成 
- 1963 09 フェアレディ(SP310)生産開始 
- 1962 11 資本金15億5,000万円に逐次増資
- 01 日産車体工機(株)と改称
- 1961 10 株式を東京・大阪証券取引所第一部に上場
- 1960 11 キャプオールマイクロバス(GC140)生産開始(京都工場)
- 02 全長115mのシャシコンベアライン稼働
- 1959 10 資本金3億3,000万円に増資
- 1956 04 ダットサンピックアップ(U122)生産開始(京都工場)
- 1951 09 ニッサンパトロール(4W60)生産開始(平塚工場)
- 06 日産自動車(株)と提携
- 1949 04 新日国工業(株)設立、資本金1億円、鉄道車両および自動車車体製作の事業を継承
- 1947 07 わが国初の超大型トレーラーバス(T11B25)完成 
- 05 戦災復旧電車、都電(6000)第1号完成(平塚製作所) 
- 1946 11 バスポデー第1号車完成 
- 02 日国工業(株)と改称、鉄道車両および自動車車体製作に転換 
- 1941 07 日本航空工業(株)(昭和12年5月創立、当初資本金300万円)と国際工業(株)(昭和14年11月創立、資本金300万円)が合併し、日本国際航空工業(株)設立、資本金3,600万円、航空機製作
- 1937 05 日本航空工業(株)設立(資本金300万円)

# 財務データ

数値は連結データ\*を記載しています。  
(百万円未満切捨て)

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
売上高	215,359	307,521	301,071
営業利益又は営業損失(△)	△3,538	4,390	979
経常利益又は経常損失(△)	△2,541	5,118	1,392
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△2,217	3,883	407

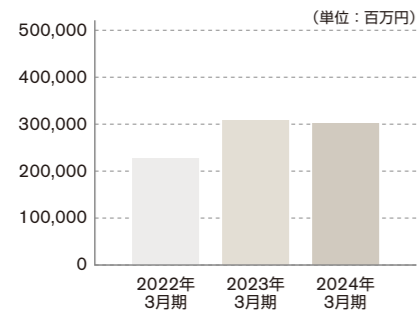
(単位：百万円)

## ■ 売上台数

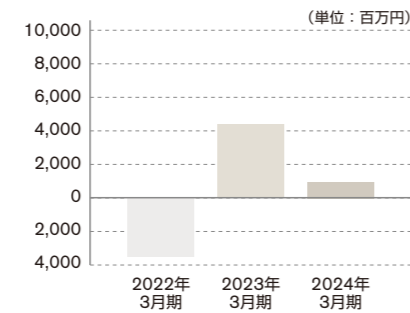
	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
乗用車	56,826	85,436	79,384
商用車	49,090	45,421	47,913
小型バス	7,859	11,126	11,824
計	113,775	141,983	139,121

(単位：台)

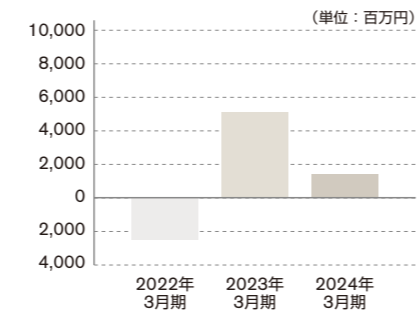
## ■ 売上高



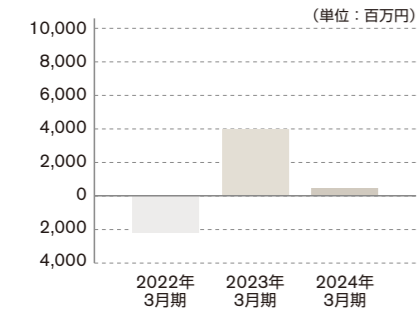
## ■ 営業利益又は営業損失



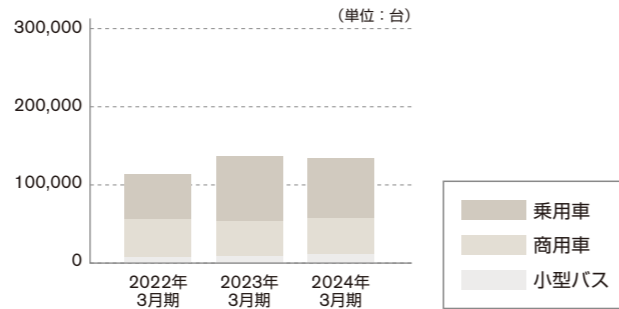
## ■ 経常利益又は経常損失



## ■ 親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失



## ■ 売上台数



\* 記載した数値は、連結子会社6社(日産車体九州㈱、日産車体マニファクチュアリング㈱、日産車体エンジニアリング㈱、㈱オートワークス京都、日産車体コンピュータサービス㈱、㈱プロスタッフ)を含みます。

# 関係会社の概要

## 日産車体マニファクチュアリング株式会社

日産車体のプレス部品の製造。

社名	日産車体マニファクチュアリング株式会社	従業員数	212名(2024年3月31日現在)
URL	http://ns-m.jp	事業内容	自動車部品の製造
設立	1956年10月31日	本社所在地	〒254-0021 神奈川県平塚市長瀬2番15号
資本金	4億32百万円(日産車体㈱出資比率 100%)	TEL	0463-21-8510
代表者	代表取締役 社長 梶井 亮		

## 日産車体エンジニアリング株式会社

自動車生産設備、各種FA、動力設備のエンジニアリング、物流機器・リチウムイオン電池製品の製造・販売。

社名	日産車体エンジニアリング株式会社	従業員数	289名(2024年3月31日現在)
URL	http://www.ns-eng.jp	事業内容	1. 生産設備、動力設備の企画・設計・製作・施工 2. 生産設備、動力設備の維持管理 3. 工場内物流サービス業務 4. 物流機器の製造・販売
設立	1986年8月1日	本社所在地	〒254-0027 神奈川県平塚市堤町4-4
資本金	40百万円(日産車体㈱出資比率 100%)	TEL	0463-20-5372
代表者	代表取締役 社長 興津 学		

## 株式会社 オートワークス京都

働くクルマの架装。

社名	株式会社オートワークス京都	従業員数	192名(2024年3月31日現在)
URL	https://www.awk.co.jp	事業内容	働くクルマの架装
設立	2001年3月12日	本社所在地	〒611-0033 京都府宇治市大久保町西ノ端1番地1
資本金	480百万円(日産車体㈱出資比率 100%)	TEL	0774-46-7063
代表者	代表取締役 社長 内海 嘉則		

## 日産車体コンピュータサービス株式会社

情報システム構築、保守運用サービス等を提供する総合的なコンピュータサービス。

社名	日産車体コンピュータサービス株式会社	従業員数	252名(2024年3月31日現在)
URL	https://www.ncs-net.co.jp	事業内容	1. アプリケーションシステム開発 2. システム保守・運用
設立	1987年1月1日	本社所在地	〒254-0042 神奈川県平塚市明石町2番20号
資本金	100百万円(日産車体㈱出資比率 100%)	TEL	0463-22-7760
代表者	代表取締役 社長 森 猛		

## 株式会社 プロスタッフ

人材派遣から職業・人材紹介および各種アウトソーシング。

社名	株式会社プロスタッフ	従業員数	168名(2024年3月31日現在)
URL	http://www.pro-staff.co.jp	事業内容	1. 一般労働者派遣事業 2. 有料職業紹介事業 3. アウトソーシング
設立	1987年8月1日	本社所在地	〒254-0031 神奈川県平塚市天沼9-10 日産車体天沼ビル1F
資本金	90百万円(日産車体㈱出資比率 100%)	TEL	0463-23-7750
代表者	代表取締役 社長 小林 弘和		

# 生産車紹介

## 湘南工場



**NV200**  
VANETTE

NV200バネット



**AD**

AD

## 日産車体九州



**QX80**

QX80



**PATROL**

パトロール：Y63



**PATROL**

パトロール：Y62



**ARMADA**

アルマーダ



**ELGRAND**

エルグランド



**CARAVAN**

キャラバン

## オートワークス京都

※株式会社オートワークス京都は、パラメディック(高規格救急車)など救急・医療関係車両、消防関係車両、幼稚園バス、公共応急作業車両など働くクルマの架装を行っている日産車体株式会社のグループ会社です。



救急・医療関係車両



消防関係車両



幼稚園通園専用車



公共応急作業車両